

2017年7月27日
株式会社日立製作所

日立アンサルド・ボルチモア・レール・パートナーズ社が、 米国メリーランド州ボルチモア地下鉄向け車両 および信号システムを約450億円で受注



今回受注した車両(イメージ図)

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)の鉄道システム事業におけるグループ会社である日立レールイタリア社(CEO:モーリツィオ マンフェロット)とアンサルド STS 社(CEO:アンディ バー)が設立した「日立アンサルド・ボルチモア・レール・パートナーズ社」は、アメリカ合衆国(以下、米国)のメリーランド州交通局 (Maryland Transit Administration) からボルチモア地下鉄向けに、78両の車両およびCBTC*1信号システムを4億50万ドル(約450億円)で受注しました。

今回受注した車両および信号システムは、革新的な安全性・快適性・デザインで設計されており、30年間にわたり、年平均8万マイル(約13万km)の車両運用が可能です。

車両はステンレス製で、2両編成を最小に、必要に応じた複数車両の編成とすることが可能です。座席数は76席で、乗車定員は196人であり、床構造は、北米の鉄道車両燃焼規格(NFPA*2)130に適合し、30分間以上の耐火性が保証されており、火災時の燃焼および発煙抑制規準を満たす材料を採用しています。加えて、高い保守性を維持しつつ、エネルギー消費量削減のための軽量化を実現しました。車両は全て動力車でIGBTインバータを搭載し、先頭部分はファイバーグラス製で、LEDを備え付けた革新的なデザインです。

内装・座席配置・車内機器の配置と暖房、照明システムは、「Americans with Disabilities Act(障がいを持つアメリカ人法)」の利便性・移動性に対する要件を満たしており、より高い快適性を乗客に提供します。また、地上・車上間の通信システム、最新の旅客案内システムとWi-Fi接続、および最高水準の統合監視システムを運転台に備えています。

今回受注したボルチモア地下鉄向け車両は、現在フロリダ州のマイアミ・デイド郡向け車両を製造

している、日立のマイアミ工場で製造する予定で、最初の車両は、2021年に運用が開始される予定です。

日立レールイタリア社 CEO モーリツィオ・マンフェロットのコメント

「今回の受注は、重要な米国市場へのわれわれのコミットメントの表れであり、日立のプレゼンスを高めるものです。本プロジェクトでは、車両に加えて信号システムも提供することで、米国の旅客交通の発展に貢献します。われわれの目標は、常にお客さまの要求に応え、セキュリティ、テクノロジーおよびサステナビリティに関するニーズを満たす革新的な製品を提供し続けることです。」

今回の受注は、これまで北米およびグローバルに、同様の CBTC システムを提供してきたアンサルド STS 社における、北米での最大規模のものであり、同社が主要な北米の CBTC プロバイダーとして認識される重要なマイルストーンです。アンサルド STS 社は、新しい CBTC システムをメリーランド州交通局の 15.5 マイル(約 25km)におよぶ既設の路線に導入します。

アンサルド STS 社 CEO アンディ・バーのコメント

「北米におけるアンサルド STS 社の強いプレゼンスとメリーランド州交通局の交通システムの改善に向けた当社のコミットメントにより、この記念すべき受注を獲得することができました。この新しい鉄道システムの実現に、日立とのパートナーシップで取り組めることを喜ばしく思います。」

*1: CBTC (Communication Based Train Control): IEEE (The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.) により IEEE1474 として規格化された都市交通向けの列車制御システム。

*2: NFPA (National Fire Protection Association: 米国防火協会)

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
